

2012年 9月 3日
日本民間放送連盟

報道発表

民放テレビ社におけるラウドネス運用の開始について

一般社団法人 日本民間放送連盟〔民放連、会長＝井上 弘・TBSテレビ会長〕では、テレビ放送番組の音量・音質を適正でより聞きやすいものとするよう、音に関する新しい規準（ラウドネス）の運用を、本年10月1日から、全国の民放テレビ各局で開始します。

「ラウドネス」は、人が感じる音の大きさを数値で表す新しい“ものさし”であり、ITU-R（国際電気通信連合・無線通信部門）において国際標準化されています。民放テレビ各局は全ての放送番組（番組およびCM）で、この規準に準拠した制作・送出を行いますので、番組間やチャンネル間の音量感の差がこれまでより解消され、視聴者の皆さまに、さらに快適にテレビをお楽しみいただけるものと考えております。

なお、運用開始に伴い、従前とは聞こえ方が異なる場合がありますが、テレビ受信機の音量設定（ボリューム）を再調整することにより、快適にテレビをお楽しみいただけます。



民放連ラウドネス周知キャラクター「ラウド君」

この件に関するお問い合わせ：民放連〔会長室〕